

1 学年 1 学期中間考査試験範囲表

6/26(月)

	試験範囲	学習のポイント
理科	<p>【予定】</p> <p>○教科書P10～P91</p> <p>○よくわかる理科の学習(ワーク) P2～28</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書をよく読み、ワークを繰り返し行いましょう。(少なくとも2周はしましょう。) 重要語句は漢字で書けるように練習しましょう。 記述問題は正しく説明できるようにしましょう。 「ワーク(学習ノート)」と「ファイル」を回収します。「まとめノート」を作っている人は一緒に提出してください。ワークは試験範囲全て、丸つけすること。各学級の理科係は担当の先生まで提出をお願いします。 <p style="text-align: right;">提出日6/26(月) 放課後</p>
社会	<p>【地理】</p> <p>○教科書P2～P25</p> <p>○ワークP2～P17</p> <p>【歴史】</p> <p>○教科書P2～P5 P14～P33</p> <p>○ワークP2～P11</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の太字やノートに色ペンで記入したところは、意味も含めて確実に覚えましょう。 復習するときは、教科書やワーク、単元テストの中の資料もしっかり見て、関連付けて学習しましょう。 漢字で書ける語句は漢字で書く練習をすること。 ワークや単元テストの復習に取り組みましょう。
国語	<p>○教科書 巻頭～P51</p> <p>「朝のリレー」「野原はうたう」</p> <p>「シンシュン」「情報を的確に聞き取る」</p> <p>「比較・分類」「漢字の組み立てと部首」</p> <p>「ダイコンは大きな根？」</p> <p>「ちょっと立ち止まって」</p> <p>○国語の学習(ワーク)P8～P36</p> <p>○漢字の読み書き 漢字小テスト1～10回</p> <p>○朝学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> 詩の特徴を捉え、音読の仕方を確認しましょう。 小説、説明文の読み方を確認しましょう。 教科書、ノートやワークを見直しましょう。 漢字や語句は繰り返し書いて覚えましょう。 <p>☆国語のワークは、試験範囲のページに取り組み、丸つけまで終わらせ、提出してください。国語係は担当の先生まで提出をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">提出日6/26(月) 放課後</p>
英語	<p>○教科書P4～36</p> <p>Unit0～Unit3</p> <p>○ワーク(Get English)P2～35</p> <p>○授業で使用したプリント等</p> <p>○5問テスト(試験前に行ったところまで)</p> <p>○単元テスト Unit1,Unit2</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本となる英単語を書けるように練習し、それを応用して文法問題を解けるようにしよう。(ワークを使って) 教科書本文の内容をつかみ、似たような英文を理解できるように練習しよう。 リスニングテストもあります。 <p>【提出するもの】</p> <p>①ワーク 該当ページまでやり、丸つけをしてテスト前最後の授業に提出。間に合わない場合は試験当日までは提出可。</p> <p>②単語ノート 5問テストや考査に向けて単語や英文を単語用ノートに練習し、20ページ分提出。</p>
数学	<p>○教科書P10～</p> <p>第1章「正負の数」P10～P60</p> <p>第2章「文字と式」P10～P72</p> <p>○ワーク</p> <p>第1章「正負の数」P6～P33</p> <p>第2章「文字と式」P34～P39</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重要用語の意味を理解し、漢字で書けるようにしましょう。 正負の数の四則計算を正確に解けるようにしましょう。 文字を使った式の表し方(積と商の表し方)を理解し、表現できるようにしましょう。 文字に数を代入し、式の値を求められるようにしましょう。 ワークを仕上げ、試験後の最初の授業で提出。